

論文概略

論文タイトル	Comparison of body-powered voluntary opening and voluntary closing prehensor for activities of daily life
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development
巻号項	Volume 51 Number 2 Page 253 - 266
出版年	2014 年

支援機器	Body-powered voluntary opening and voluntary closing prehensor
分類(ISO9999)	06：義肢装具
試験相	第1 相試験
研究仮説(目的)の概要	open と close の2つのモードの切り替え可能な能動前腕義手において、ADL (activity of daily living) における課題遂行を評価すること
研究デザイン	自己対照
障害・疾患	切断
対象者・数	健常者 29 人 障害者 2 人
主要アウトカム	SHAP (Southampton Hand Assessment Procedure)
副次アウトカム1	質問票
副次アウトカム2	
副次アウトカム3	
副次アウトカム4	
副次アウトカム5	
統計学的検定	無
結果の概要	健常者、切断者ともに SHAP (Southampton Hand Assessment Procedure) にて open と close の機能性に有意差なし

論文整理番号 55 ※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
 支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
 (H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター